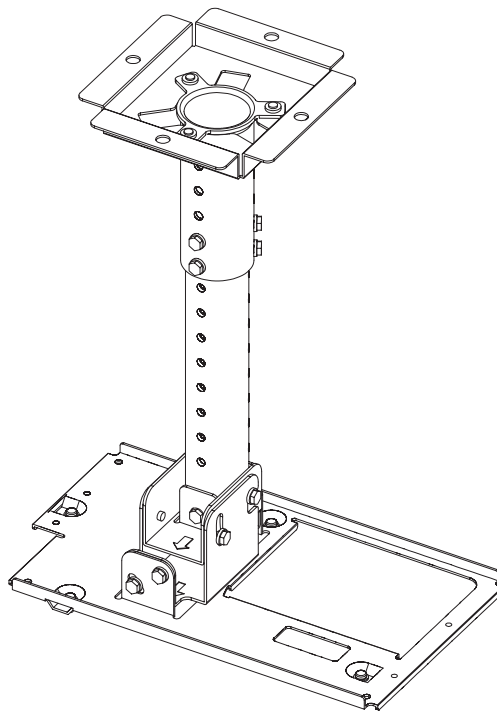


工事説明書 天つり金具 (高天井用)

品番 ET-PKA110H



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■ お客様へ

この「工事説明書」は、工事業者様用です。取り付け工事は、必ず工事専門業者にご依頼ください。
また、工事完了後は、この「工事説明書」を工事業者様よりお受け取りのうえ、大切に保管してください。
移設、撤去の際には、工事業者様にご依頼のうえ、この「工事説明書」をお渡しください。

■ 工事業者様へ

この「工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に工事を行ってください。
また、3～4ページの、「安全上のご注意」は、重要な内容ですので、必ずお読みください。
工事完了後は、この「工事説明書」をお客様にお渡しください。

■ もくじ



安全上のご注意	3
金具の構成	4
取り付け工事寸法.....	6
取り付け方	8
スクリーンの取り付け.....	8
ねじ類の締めつけトルク.....	8
アタッチプレート天井への取り付け.....	8
アジャストポールの準備.....	10
アタッチプレートへのアジャストポールの取り付け	11
プロジェクターへの金具の取り付け	11
プロジェクターのつり下げ.....	12
プロジェクター本体落下防止セットの取り付け	12
設置角度の調整	13
天つり金具落下防止セットの取り付け	14
仕様.....	14

安全上のご注意




必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。




■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

	■ 天井取り付け（天つり）などの設置工事は専門の技術者あるいは購入店に依頼する (工事の不備により、大きな事故の原因となります。) ⇒本書の「取り付け方」に従って確実に施工してください。
	■ 取り付け場所の構造、材質に合った工事を行う (工法を誤ると天つり金具が落下してけがの原因となります。)
	■ 取り付け・設置作業は2人以上で行う (本機はプロジェクターを含めると約 11 kg となります。取り付け・設置作業は2人以上で行ってください。)
	■ 取り付け作業は足場の安全を確保して行う (倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。)
	■ 天つり金具のねじは、不用意に取り外したり、緩めたりしない (プロジェクターが落下して、けがの原因となります。)
	■ 強度の不足する場所に取り付けない (落下などによるプロジェクターの破損や、大きな事故・けがの原因になります。)
	■ 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気、熱の発生する所に取り付けない (火災・感電の原因となることがあります。また、油により樹脂が劣化し、天つり設置のときに落下するおそれがあります。)
	■ 付属品（座金組み込みねじ、座金組み込み六角ボルト、ワイヤークリップ、クランプ管）は、乳幼児の手の届くところに置かない (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。) ⇒万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。
	■ 天つり金具を分解したり、改造したりしない (こわれたり、落下してけがをしたりする原因になります。)

分解禁止

安全上のご注意（つづき）



注意

	<ul style="list-style-type: none"> ■ 指定の Projektor 以外は取り付けない ■ 指定の方法以外の取り付けは行わない (落下したり、破損してけがの原因になります。)
	<ul style="list-style-type: none"> ■ Projektor の吸・排気をさまたげる場所に設置しない (火災の原因となることがあります。)
	<ul style="list-style-type: none"> ■ Projektor 本体や天つり金具にぶら下がったり、ものをぶら下げたりしない (Projektor 本体が落下してけがの原因となることがあります。)
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 取り付けの際は、必ず付属の構成部品を使用する (こわれたり Projektor が落下してけがの原因になります。)
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 取り付けねじや電源コードが天井内部の金属部と接触しないように設置する (天井内部の金属部と接触して、感電の原因となることがあります。)

■ 取り付け不備、取り扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません

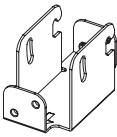
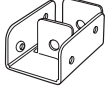







金具の構成

本製品は Projektor を天井からつり下げて設置する際に使用する金具です。

■ 構成部品一覧

品名	外観(数量)	用途
アタッチプレート	 1 個	本金具を天井に、4本の六角ボルトを介して取り付けます。 取り付け方法は、コンクリートと木造天井の場合の2通りがあります。 左右方向の調整機能があります。
Projektor 取り付け金具	 1 個	本金具に Projektor 本体を取り付けます。 左右傾きの調整機能があります。
アジャストポール	 1 個	アタッチプレートと Projektor 取り付け金具の中継ポールです。 天井に対する Projektor の高さを調整する機能があります。

金具の構成（つづき）

品名	外観(数量)	用途
角度調整金具④	 1個	プロジェクター取り付け金具に取り付けます。 前後傾きの調整機能があります。
角度調整金具⑤	 1個	アジャストポール ⑤ に取り付けます。
ねじ・ボルト類	 座金組み込みねじ (M4 × 10) 4本  座金組み込み六角ボルト (M6 × 12) 19本	金具類をプロジェクターに固定するために使用します。
天つり金具 落下防止セット	 ワイヤロープ (線径 1.5 mm、長さ 2 m) 1本  ワイヤクリップ 2個  クランプ管 2個	天つり金具の落下防止のために使用します。
プロジェクター本体 落下防止セット	 プロジェクター 本体用 ワイヤロープ (線径 2.0 mm、 長さ 600 mm) 1本  座金組み込みねじ (M4 × 10) 1本	プロジェクター本体の落下防止のために使用します。

■下記部品をご用意ください。(市販品)

工事内容	必要な部品	ページ
アタッチプレート の天井への取り付け	六角ボルト (4本)、ナット (8個)、スプリングワッシャー (4個)、平ワッシャー (8個)、釘、取り付け板	9
取り付け部が コンクリートの場合	六角ボルト (4本)、アンカーナットまたはカールプラグ (4組)、スプリングワッシャー (4個)、平ワッシャー (4個)	9
天井への落下防止 セットの取り付け	六角ボルト (1本)、アンカーナットまたはカールプラグ (1組)、スプリングワッシャー (1個)、平ワッシャー (1個)	14

※すべて M8 または 5/16" 用をご使用ください。

- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- ねじ類の締めつけトルクは、M6：4 ± 0.5 N・m、M4：1.25 ± 0.2 N・m で管理してください。
- 使用を終了した金具は工事の専門技術者にご依頼のうえ、速やかに撤去してください。
- ねじ類の締めつけの際は、トルクレンチなどを使用し、電動ドライバー、インパクトドライバーを使用しないでください。

お願い

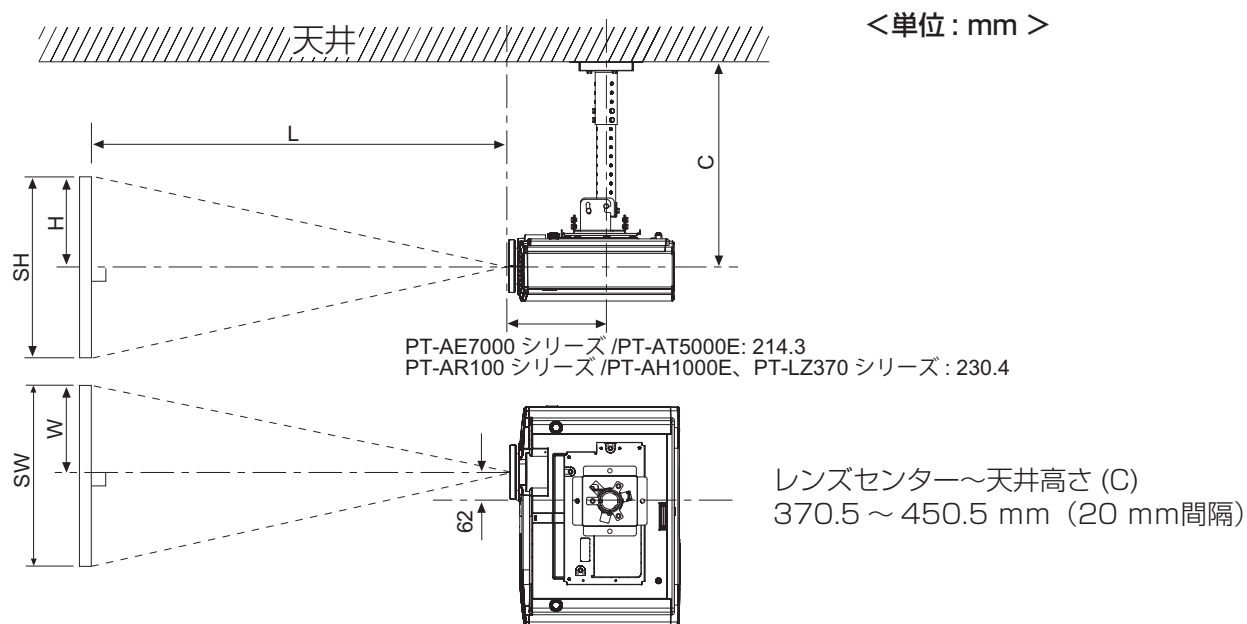
- 包装材料は製品を取り出したあと、適切に処理してください。

取り付け工事寸法

スクリーンとプロジェクター間の投写関係寸法は下記の通りです。

設置可能範囲を確認のうえ、工事寸法を決めてください。

レンズのズーム機能により投写距離が調整できます。投写画面を確認しながら微調整を行ってください。



(注) このイラストは正確な縮尺ではありません。

お願い

- プロジェクター本体の吸気口・排気口をふさがないように、周辺の壁や物から 10 cm 以上離して設置してください。
- エアコンの吹き出し口や照明器具（スタジオ用ランプなど）の近くなど、温度変化が激しい場所には設置しないでください。

取り付け工事寸法（つづき）

●PT-AE7000 シリーズ /PT-AT5000E の場合

投写画面サイズ (16:9)			投写距離 (L)		レンズセンター ～映像上端：H	レンズセンター ～映像右端：W
対角 (SD)	高さ (SH)	幅 (SW)	最短 (LW)	最長 (LT)		
40型 (1.02 m)	0.50 m	0.89 m	1.16 m	2.37 m	約 -0.25 ~ 0.75 m	約 0.21 ~ 0.68 m
50型 (1.27 m)	0.62 m	1.11 m	1.47 m	2.98 m	約 -0.31 ~ 0.93 m	約 0.27 ~ 0.84 m
60型 (1.52 m)	0.75 m	1.33 m	1.77 m	3.58 m	約 -0.38 ~ 1.13 m	約 0.32 ~ 1.01 m
70型 (1.78 m)	0.87 m	1.55 m	2.07 m	4.18 m	約 -0.44 ~ 1.31 m	約 0.37 ~ 1.18 m
80型 (2.03 m)	1.00 m	1.77 m	2.37 m	4.79 m	約 -0.50 ~ 1.50 m	約 0.42 ~ 1.35 m
90型 (2.29 m)	1.12 m	1.99 m	2.67 m	5.39 m	約 -0.56 ~ 1.68 m	約 0.48 ~ 1.51 m
100型 (2.54 m)	1.25 m	2.21 m	2.98 m	6.00 m	約 -0.63 ~ 1.88 m	約 0.53 ~ 1.68 m
120型 (3.05 m)	1.49 m	2.66 m	3.58 m	7.20 m	約 -0.75 ~ 2.24 m	約 0.64 ~ 2.02 m
150型 (3.81 m)	1.87 m	3.32 m	4.49 m	9.02 m	約 -0.94 ~ 2.81 m	約 0.80 ~ 2.52 m
200型 (5.08 m)	2.49 m	4.43 m	6.00 m	12.04 m	約 -1.25 ~ 3.74 m	約 1.06 ~ 3.37 m
250型 (6.35 m)	3.11 m	5.53 m	7.51 m	15.06 m	約 -1.56 ~ 4.67 m	約 1.33 ~ 4.20 m
300型 (7.62 m)	3.74 m	6.64 m	9.02 m	18.08 m	約 -1.87 ~ 5.61 m	約 1.59 ~ 5.05 m

●PT-AR100 シリーズ /PT-AH1000E、 PT-LZ370 シリーズの場合

投写画面サイズ (16:9)			投写距離 (L)		レンズセンター ～映像上端：H	レンズセンター ～映像右端：W
対角 (SD)	高さ (SH)	幅 (SW)	最短 (LW)	最長 (LT)		
40型 (1.02 m)	0.50 m	0.89 m	1.11 m	2.29 m	約 -0.08 ~ 0.58 m	約 0.21 ~ 0.68 m
50型 (1.27 m)	0.62 m	1.11 m	1.41 m	2.87 m	約 -0.09 ~ 0.71 m	約 0.27 ~ 0.84 m
60型 (1.52 m)	0.75 m	1.33 m	1.70 m	3.46 m	約 -0.11 ~ 0.86 m	約 0.32 ~ 1.01 m
70型 (1.78 m)	0.87 m	1.55 m	1.99 m	4.04 m	約 -0.13 ~ 1.00 m	約 0.37 ~ 1.18 m
80型 (2.03 m)	1.00 m	1.77 m	2.28 m	4.62 m	約 -0.15 ~ 1.15 m	約 0.42 ~ 1.35 m
90型 (2.29 m)	1.12 m	1.99 m	2.57 m	5.21 m	約 -0.17 ~ 1.29 m	約 0.48 ~ 1.51 m
100型 (2.54 m)	1.25 m	2.21 m	2.87 m	5.79 m	約 -0.19 ~ 1.44 m	約 0.53 ~ 1.68 m
120型 (3.05 m)	1.49 m	2.66 m	3.45 m	6.96 m	約 -0.22 ~ 1.71 m	約 0.64 ~ 2.02 m
150型 (3.81 m)	1.87 m	3.32 m	4.33 m	8.70 m	約 -0.28 ~ 2.15 m	約 0.80 ~ 2.52 m
200型 (5.08 m)	2.49 m	4.43 m	5.79 m	11.62 m	約 -0.37 ~ 2.86 m	約 1.06 ~ 3.37 m
250型 (6.35 m)	3.11 m	5.53 m	7.25 m	14.53 m	約 -0.47 ~ 3.58 m	約 1.33 ~ 4.20 m
300型 (7.62 m)	3.74 m	6.64 m	8.71 m	17.45 m	約 -0.56 ~ 4.30 m	約 1.59 ~ 5.05 m

上記の表以外の投写寸法は下記の計算式で求めることができます。

投写画面対角寸法 SD (m) から投写距離などの寸法を計算することができます。式の単位はすべてmです。

適応機種 (画面サイズ)	PT-AE7000 シリーズ/ PT-AT5000E (16:9)	PT-AR100 シリーズ/ PT-AH1000E、 PT-LZ370 シリーズ (16:9)
画面幅	$SW=SD \times 0.872$	
画面高さ	$SH=SD \times 0.490$	
最短投写距離	$LW=1.1897 \times SD - 0.046$	$LW=1.1503 \times SD - 0.056$
最長投写距離	$LT=2.3787 \times SD - 0.046$	$LT=2.2951 \times SD - 0.041$

お知らせ

- 上記の表の寸法や計算式で求められる値は若干の誤差があります。

取り付け方

6～7ページの「取り付け工事寸法」をご参照いただき、設置される場所の高さや広さ、建物構造をご確認のうえ、スクリーンとプロジェクターの取り付け位置を決めてください。

- 設置工事は、必ず工事の専門技術者に依頼してください。
- 当社製以外の天つり金具ならびに天つり金具設置環境の不具合による製品の損傷等については保証期間中であつても責任を負いかねますのでご注意ください。
- ご使用を終了した製品は、工事の専門技術者にご依頼のうえ、速やかに撤去してください。
- 3D対応プロジェクターPT-AE7000シリーズ/PT-AT5000Eで3D映像を視聴する場合は、台形補正は機能しません。
台形ひずみが発生しないように、プロジェクター取り付け金具のプロジェクター取り付け面をスクリーンに対して直角にし、レンズシフトの範囲内で投写できるように設置してください。

スクリーンの取り付け

設置場所および、使用されるスクリーンの種類に合わせて、指定された工事方法でスクリーンを取り付けてください。

ねじ類の締めつけトルク

M4……………1.25 ± 0.2N・m

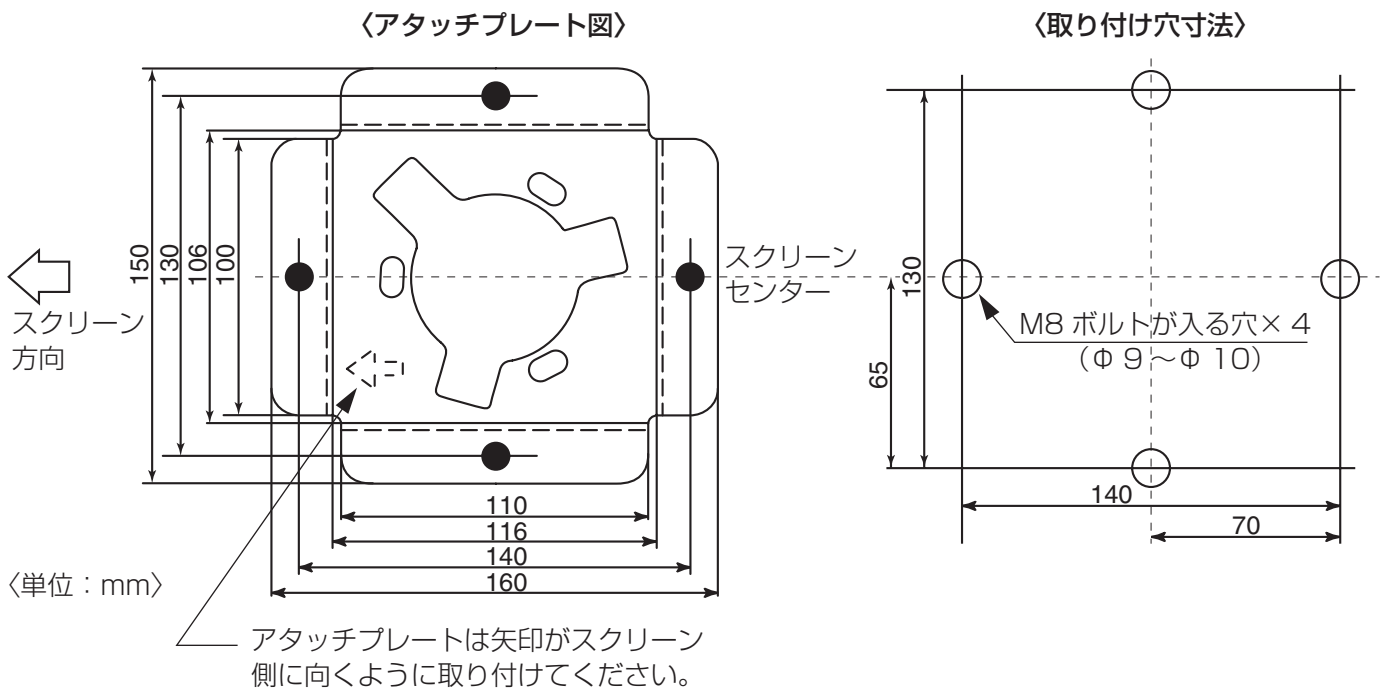
M6……………4.0 ± 0.5N・m

- ねじ類の締めつけの際は、トルクドライバーまたは、六角トルクレンチを使用し、規定値内の締めつけトルクで取り付けてください。電動ドライバー、インパクトドライバーを使用しないでください。

アタッチプレートの天井への取り付け

■ アタッチプレート取り付け穴寸法と加工

アタッチプレート図を参照して、取り付け穴の加工を行います。



お願い

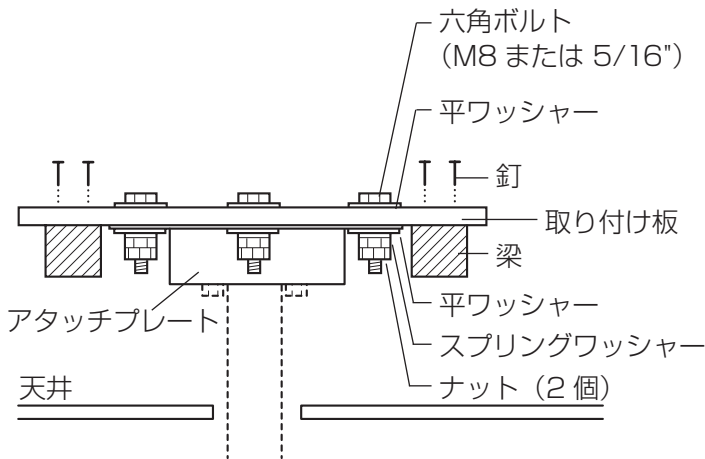
- コンクリート天井に取り付ける場合の取り付け穴は、アンカーナットまたはカールプラグのサイズに合わせてあけてください。
- 六角ボルト、六角ナット、平ワッシャー、スプリングワッシャー、アンカーナットまたはカールプラグは市販品をお求めください。

取り付け方（つづき）

■ アタッチプレートの取り付け

アタッチプレートの取り付けは、天井がコンクリートまたは木造の場合により、取り付け方法が2通りあります。それぞれの天井に適合した取り付け方法で行ってください。

●取り付け部が木造の場合



- ① アタッチプレート取り付け穴位置にΦ 9 ~ Φ 10 の貫通穴をあける。

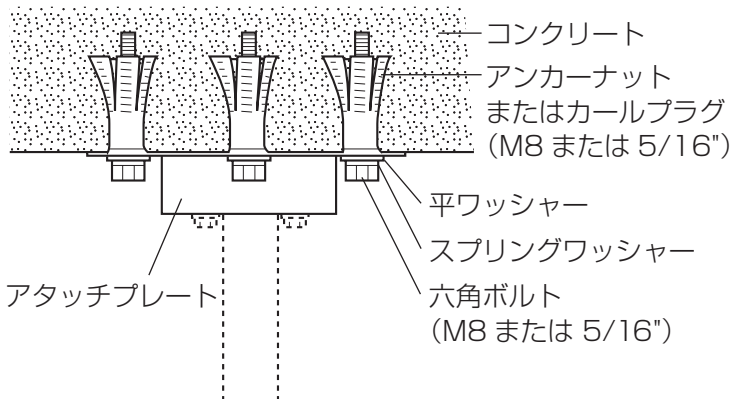
お知らせ

- アタッチプレート取り付け部の下に天井板がある場合は、天井板にポールを通すための大きな穴（Φ 70 程度）が必要です。
- ② 市販品の六角ボルト（M8 または 5/16"）、平ワッシャー、スプリングワッシャー、ナットを使い、左図のようにアタッチプレートを取り付ける。
 - 六角ボルトを保持する場所がプロジェクターと天つり金具の質量に十分耐える強度があるか確認してください。強度が不足する場合は、安全係数に留意して十分な補強を行ってください。

お願い

- アタッチプレートに表示の矢印がスクリーンに向くよう取り付けてください。

●取り付け部がコンクリートの場合



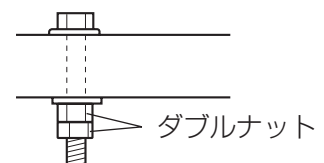
- ① 市販品のアンカーナットまたはカールプラグ（M8 または 5/16"）等のメーカーが指定する施工方法で、アタッチプレート取り付け穴位置にうめ込む。
- ② アンカーナットまたはカールプラグのボルトに M8 または 5/16" 用の平ワッシャー、スプリングワッシャーを通し、左図のようにアタッチプレートを取り付ける。
 - コンクリートがプロジェクターと天つり金具の質量に十分耐えることを確認してください。天井のコンクリートが弱くてもろい場合や長年の使用で劣化が考えられる場合は、鉄骨や木材で補強を行ってください。

お願い

- アタッチプレートに表示の矢印がスクリーンに向くよう取り付けてください。

お願い

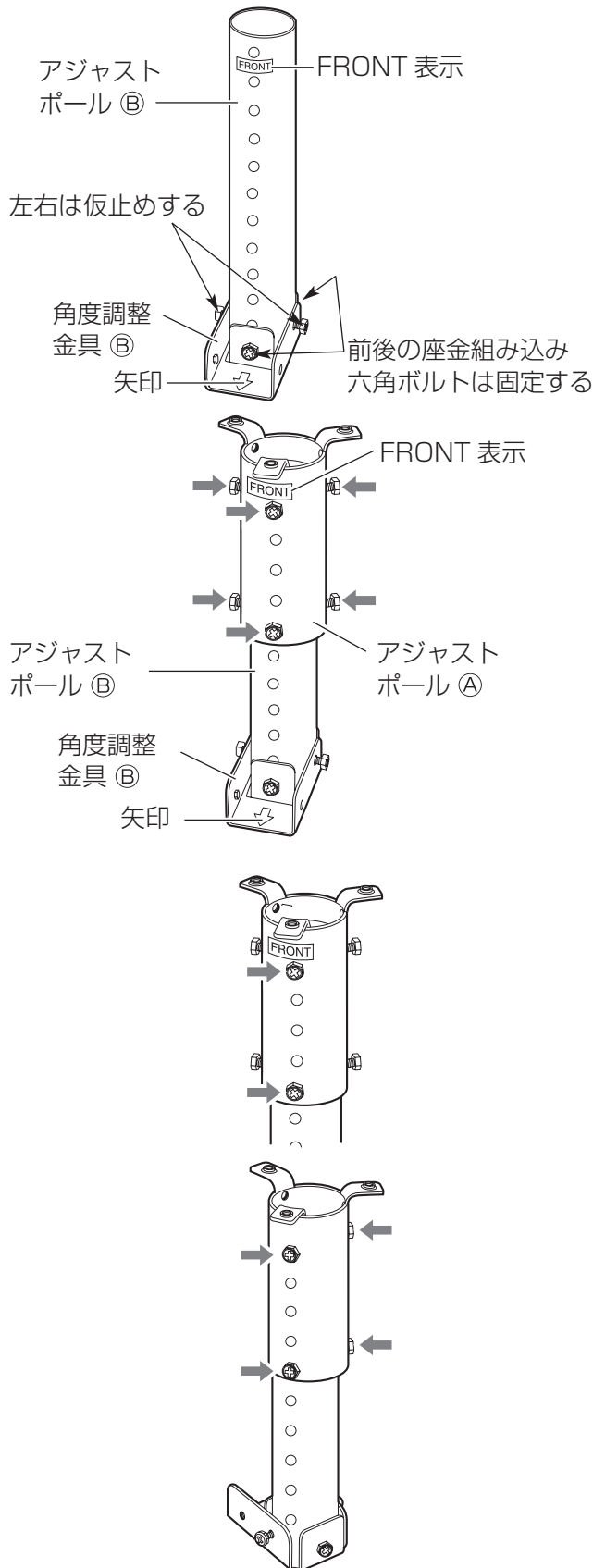
- 六角ボルト、アンカーナットまたはカールプラグ、ナット、ワッシャー、スプリングワッシャーは M8 または 5/16" 用を必ずご使用ください。
- 各ボルト、ナットは確実に締めつけ、緩みが発生しないよう必要に応じダブルナット、ねじロック処理などを行ってください。



取り付け方 (つづき)

アジャストポールの準備

アジャストポール ⑥ に下記の手順で角度調整金具 ⑧ とアジャストポール ④ を取り付けます。



- ① アジャストポール ⑥ に左図のように付属の座金組み込み六角ボルト (M6) 4 本を使い、角度調整金具 ⑧ を固定する。

お願い

- 左右の座金組み込み六角ボルトは、仮止めにしてください。
- アジャストポール ⑥ に表示の「FRONT」と、角度調整金具 ⑧ に表示の矢印の向きを合わせてください。

- ② アジャストポール ④ にアジャストポール ⑥ を差し込み、アジャストポール ④ ⑥ の FRONT マークおよび穴の位置を合わせ、付属の座金組み込み六角ボルト (M6) 6 本で仮止めする。

お願い

- アジャストポール ④ と ⑥ には、それぞれ 20 mm 間隔で穴が開けてあります。7 ページに記載の寸法を基に割り出した高さになる穴の位置で、仮止めしてください。
- アジャストポール ④ に表示の「FRONT」と、角度調整金具 ⑧ に表示の矢印の向きを合わせてください。

- ③ 手順 ② で仮止めした座金組み込み六角ボルト (前方 2 か所) をしっかりと締めつける。

- ④ 手順 ② で仮止めした残りの座金組み込み六角ボルト (後方 4 か所) をしっかりと締めつける。

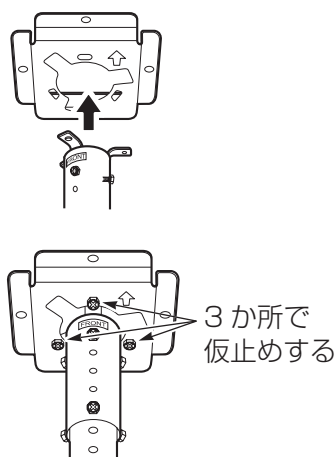
お願い

- アジャストポール ④ と ⑥ は、必ず 6 か所で固定してください。

取り付け方（つづき）

アタッチプレートへのアジャストポールの取り付け

天井に固定したアタッチプレートへ、下記の手順でアジャストポールを取り付けます。



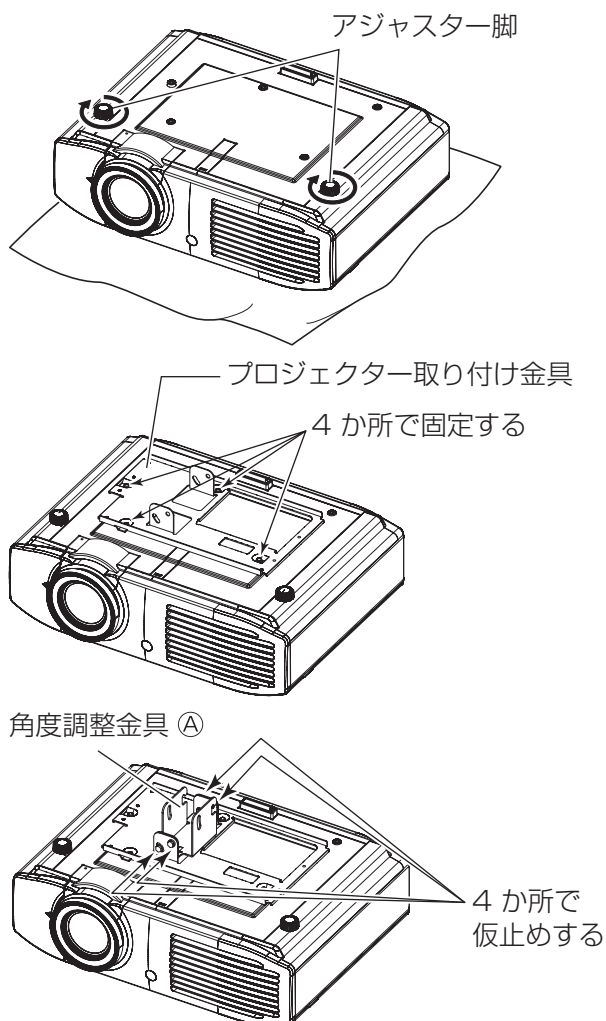
- ① 左図のようにアタッチプレートの抜き穴と、アジャストポールのフランジ（曲げ部分）を合わせて挿入した後、アジャストポールを回して、アジャストポールに表示の「FRONT」とアタッチプレートに表示の矢印の向きを合わせる。
- ② 固定穴がアタッチプレートの長穴のほぼ中央にくる状態にしてから、付属の座金組み込み六角ボルト（M6）3本で、仮止めする。

お願い

- アジャストポールのフランジ（曲げ部分）の長さが1か所だけ異なるので、アジャストポールに表示の「FRONT」とアタッチプレートに表示の矢印の向きを必ず合わせてください。

プロジェクターへの金具の取り付け

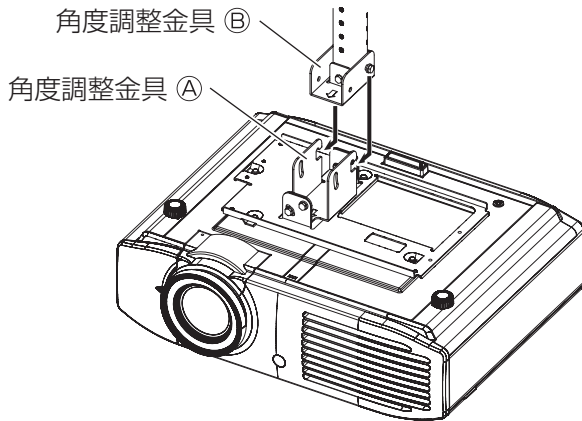
プロジェクター（別売品）へ天つり金具の各部品を取り付けます。



- ① 柔らかい布等の上に、プロジェクターの底面を上にして置き、アジャスター脚を回していちばん短い状態にする。
- ② プロジェクターの底面に、左図のようにプロジェクター取り付け金具を付属の座金組み込みねじ（M4）4本でしっかりと固定する。
- ③ プロジェクター取り付け金具に、角度調整金具 ①を、付属の座金組み込み六角ボルト（M6）4本で仮止めする。

取り付け方 (つづき)

プロジェクターのつり下げ



- ① 10 ページの手順 ① で仮止めした座金組み込み六角ボルトに、角度調整金具 ① の引っ掛け部をはめ込む。

お願い

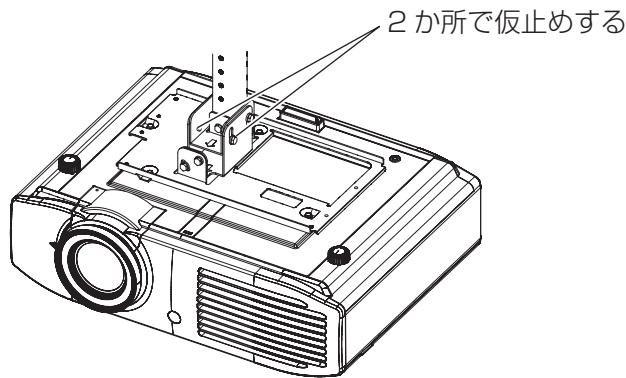
- 角度調整金具 ① と ② に表示の矢印の向きを合わせてください。
- 角度調整金具 ② に取り付けした座金組み込み六角ボルトに L 型みぞが、はまり込むまでは、プロジェクターから手を離さないでください。



警告



■ 取り付け・設置作業は 2 人以上で行う



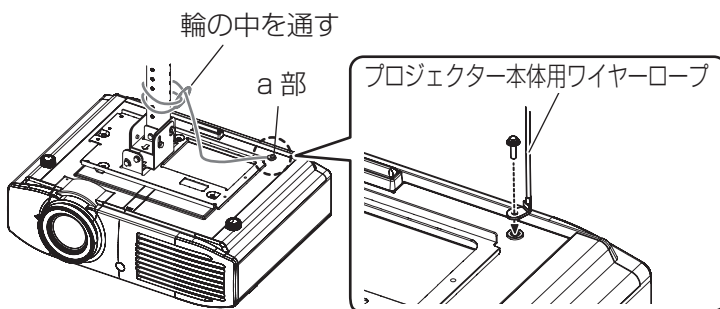
- ② 付属の座金組み込み六角ボルト (M6) 2 本で、左図のように角度調整金具 ① と ② を仮止めする。

お願い

- 座金組み込み六角ボルトは、プロジェクターが水平になる状態で仮止めしてください。

プロジェクター本体落下防止セットの取り付け

プロジェクター本体用ワイヤーロープを取り付けます。

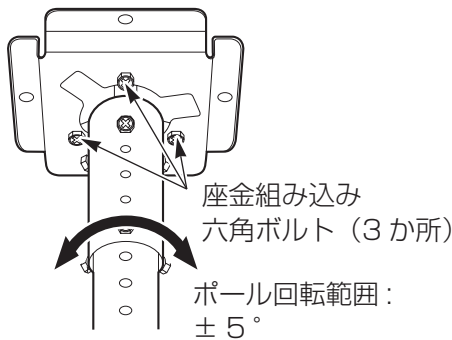


- ① プロジェクター本体用ワイヤーロープを左図のように引き回し、アジャストポールに巻きつける。
 - できる限りたわみを少なくしてください。
- ② プロジェクター本体用ワイヤーロープ先端の金具を座金組み込みねじ (M4) 1 本でプロジェクター本体の a 部に固定する。

設置角度の調整

- 天つり金具には、首振り調整と前後左右の傾き調整機能があります。
レンズセンターがスクリーン面と直角になるように調整してください。
- プロジェクターの取扱説明書をご参照のうえ、プロジェクターから映像を投写し、画面サイズとフォーカスの仮調整をしてから角度調整を始めてください。
- 3D対応プロジェクター PT-AE7000 シリーズ / PT-AT5000E で 3D 映像を視聴する場合は、台形補正は機能しません。
台形ひずみが発生しないように、プロジェクター取り付け金具のプロジェクター取り付け面をスクリーンに対して直角にし、レンズシフトの範囲内で投写できるように設置してください。

■ 投写された映像がスクリーンより左または右にずれている場合の調整



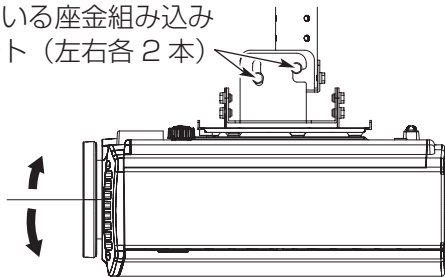
- アジャストポールとアタッチプレートを固定した座金組み込み六角ボルト (3本) を緩め、ポールを回してスクリーンセンターと映像センターが垂直線上で合うように調整する。
- 映像位置が合ったところで、座金組み込み六角ボルト (3本) をしっかり締めつける。

お願い

- アジャストポールとアタッチプレートを固定する座金組み込み六角ボルトを緩めすぎないでください。緩めすぎるとプロジェクターが落下する場合があります。

■ 投写された映像がスクリーンより上または下にずれている場合の調整

角度調整金具 ④ と ⑤ を固定している座金組み込み六角ボルト (左右各 2本)



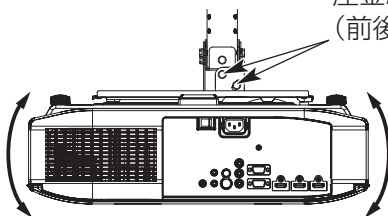
- 角度調整金具 ④ と ⑤ を固定している座金組み込み六角ボルト (左右各 2本) を緩めプロジェクターの前部を上下に動かし、映像位置がスクリーンに合うように調整する。
- 映像位置が合ったところで、座金組み込み六角ボルト (左右各 2本) をしっかり締めつける。

お願い

- 角度調整金具 ④ と ⑤ を固定している座金組み込み六角ボルトは緩めすぎないでください。緩めすぎるとプロジェクターが落下する場合があります。

■ 投写された映像が左または右に傾いている場合の調整

プロジェクター取り付け金具と角度調整金具 ④ を止めている座金組み込み六角ボルト (前後各 2本)



- プロジェクター取り付け金具と角度調整金具 ④ を固定している座金組み込み六角ボルト (前後各 2本) を緩め、プロジェクター本体を回転させて、映像が傾かない位置に調整する。
- 映像位置が合ったところで、座金組み込み六角ボルト (前後各 2本) をしっかり締めつける。

お願い

- プロジェクター取り付け金具と角度調整金具 ④ を固定している座金組み込み六角ボルトは、緩めすぎないでください。緩めすぎるとプロジェクター本体が落下する場合があります。

お知らせ

- プロジェクターの [画面位置の調整] メニュー (PT-LZ370 シリーズでは [位置調整] メニュー) で台形補正をしていない状態で設置角度の調整をしても映像が台形ひずみになっている場合は、スクリーンとプロジェクターの位置関係がずれています。
6～7 ページの「取り付け工事寸法」をご参照のうえ、各寸法のチェックを行ってください。

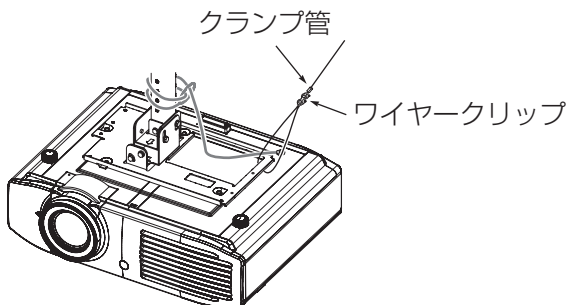
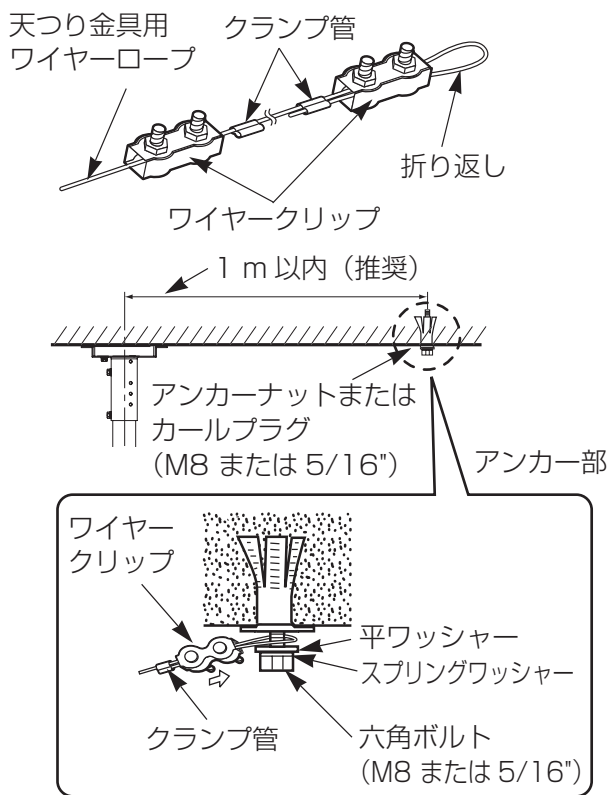
お願い

- 設置調整確認後、8 ページ記載の所定のトルクで締めつけられていることを確認してください。

天つり金具落下防止セットの取り付け

本金具に付属の天つり金具落下防止セットを使用して、落下防止の工事を行ってください

- ねじ類の締めつけの際はトルクドライバーなどを使用し、電動ドライバーやインパクトドライバーを使用しないでください。



<工事手順>

- ① ワイヤークリップ 2 個とクランプ管 2 個に天つり金具用ワイヤーロープを通す。
- ② 片方のワイヤーロープは折り返してワイヤークリップで仮固定する。
- ③ 市販品のアンカーナットまたはカールプラグ (M8 または 5/16") をしっかりした天井面 (左図の位置) に取り付ける。
- ④ アンカー部に折り返したワイヤーロープの輪を通して、ワイヤークリップを \rightarrow 方向にスライドさせてワイヤーロープの輪がはずれない位置で固定して六角ボルトを締めつける。
- ⑤ 折り返した天つり金具用ワイヤーロープの端がクランプ管からはみ出ないようにしてペンチで締める。
- ⑥ もう一方の天つり金具用ワイヤーロープをプロジェクター取り付け金具側面の穴に通してワイヤークリップで固定する。
- ⑦ 天つり金具用ワイヤーロープの端をクランプ管からはみ出ないようにしてペンチで締める。
 - このとき天つり金具用ワイヤーロープの先端がばらけてクランプ管に差し込みにくいときは、先端をカットしてください。

お願い

- 映像位置がはずれない程度に天つり金具用ワイヤーロープを張ってください。
- 余分な天つり金具用ワイヤーロープは切ってください。切断後のほつれにご注意ください。
- 付属の天つり金具用ワイヤーロープが不足する場合は、線径 1.5 mm 以上のステンレス製ワイヤーロープで工事を行ってください。

仕様

調整範囲	高さ (レンズセンター～天井間)	370.5 mm ~ 450.5 mm
	上下方向補正角度	上向き 5° 下向き 20°
	左右傾き補正角度	± 10°
	左右方向補正角度	± 5°
組み立て外形寸法		横幅 305.6 mm 高さ 306 mm ~ 386 mm 奥行 174.3 mm
質量		2.4 kg

MEMO

パナソニック株式会社 プロジェクタービジネスユニット

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 電話 ☎0120-872-601